

# 一般質問



一般質問は、10月10日、11日、12日の3日間行われ、18人の議員が登壇しました。  
 一般質問は、4面から7面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)  
 なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



## 市民の安全・安心に向け総合防災情報システムの有効活用で防災・減災対策を

創和・市民 福森 真司  
**防災・減災対策について**

**問** 激甚化・頻発化する豪雨災害に対しての取り組みはどのようなものか。  
**答** 総合防災情報システムの機能強化などに努め周知啓発を行うとともに、高齢者やスマートフォンが苦手な人を対象とした「やさしい防災講座」を開催し、「やさしい防災講座」を開催し、迅速な情報提供につながるよう努め、民間事業者からの応援体制を図るため、災害時応援協定の締結にも取り組む。  
**要望** いつ来てもおかしくない災害に備え、産・官・民の連携構築に努めるとともに、防災意識を高めるため、各年齢層、オールジェンダーにマッチした防災情報の提供に努めてほしい。  
**二 ゼロカーボンシティの実現に向けた市内事業者の取組について**  
**問** はだの脱炭素コンソーシアムの運営状況はどのようなものか。  
**答** 本市が実施している浄水管理センター消費エネルギー診断の背景や目的、取り組みについての事例発表をはじめ、人ごとから自分ごとを意識、行動の転換につながるようイニシアチブ・パートナーなどの協議を踏まえ脱炭素セミナーなどの開催に積極的に取り組む。



にぎわい創造検討懇話会



## 早急に秦野駅北口まちづくりビジョンを明確にせよ

志 政会 高橋 文雄  
**関東大震災100年を経過した際の防災対策について**

**問** 現在の震災7相当に値する関東大震災は、市内においても、死者171人、行方不明者10人、家屋全壊1490棟、半壊2640棟、全焼233棟など大きな被害を与えた。災害を風化させないために、市民に向けた防災対策が必要と考えるがどうか。  
**答** 市民の防災意識の向上を図るため、防災講演会を開催し、総合防災訓練では心肺蘇生訓練などを行い、地域防災力の強化に努めた。今後も、命を守る行動を引き継ぐよう、防災対策を推進していく。  
**二 秦野駅北口周辺のまちづくりについて**  
**問** 秦野駅北口周辺まちづくり策定ビジョンの①経過と進捗状況は、②対象区域やゾーン設定の考えは、どのようなものか。  
**答** ①市内4駅の特徴を生かすため、キックオフシンポジウムを開催し、学生などで組織したにぎわい創造検討懇話会では、実現に向けた可能性などを協議してきた。また、パブリック・コメントの意



各年齢層にマッチした防災情報の提供を(高齢者などを対象とした「やさしい防災講座」)



## 児童生徒・保護者・教職員・地域住民と共に学校づくりを

ともにつくる 桑原 昌之  
**地域とともにある学校づくりについて**

**問** 地域の公共財としての学校の役割について考えはどのようなものか。  
**答** コミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの実現を目指している。  
**二 いじめ・不登校対策について**

**問** いじめや不登校の認知件数は増加しており、子どもための対策が必要だと思うが、本市の取り組みはどうか。  
**答** いじめは、インターネット上における人間関係のトラブルなどの事案が増えているため、「GIGAワークブックはだの」を活用し、啓発などに努めている。また、不登校児童・生徒への対策としては、新たに「はだのE-Lab」を開発し、支援体制の強化を図っている。学校が魅力的な場所であることがいじめ・不登校の未然防止につながるかと考えている。  
**三 学力向上の推進について**  
**問** 教職員が、自らの個性を生かす、教育に取り組むことが何より重要だと考えているが、必要と考えるがどうか。  
**答** 可能な限り市民活動支援課で対応しているが、相談内容に応じて関係部署と連携し、丁寧な対応に努める。  
**二 防災訓練の在り方について**  
**問** 毎年恒例の事業として形骸化しているのではないかと危惧しているが、内容を再検討していく。  
**答** ①拡幅事業の影響が大きい将来に向けた変化を生み出すことに重点を置き、範囲を設定した。市を挙げ名水百選第1位、おいしい秦野の水を最大のテーマにまちづくりを推進すべきである。ほか、市の花・なでしこについて質問した。



## 街全体のにぎわいに資する宮永岳彦記念美術館の活用を

志 政会 今井 実  
**自治会加入と協働の在り方について**

**問** 自治会役員の負担軽減に向けた自治会活動の相談や要望などの窓口の一本化について、見解はどうか。  
**答** 可能な限り市民活動支援課で対応しているが、相談内容に応じて関係部署と連携し、丁寧な対応に努める。  
**二 防災訓練の在り方について**  
**問** 毎年恒例の事業として形骸化しているのではないかと危惧しているが、内容を再検討していく。  
**答** ①拡幅事業の影響が大きい将来に向けた変化を生み出すことに重点を置き、範囲を設定した。市を挙げ名水百選第1位、おいしい秦野の水を最大のテーマにまちづくりを推進すべきである。ほか、市の花・なでしこについて質問した。



不登校児童・生徒の支援を行っているはだのE-Lab



## 地域のことは地域で決められる医療提供体制の強化と充実を

ともにつくる 古木 勝久  
**ポストコロナの地域医療体制について**

**問** 秦野赤十字病院では既に47床の急性期病床を回復期病床に転換している。コロナ禍で急性期病床の確保は喫緊の課題となっている。昨今の医療提供体制を考慮し、病院の見解を改めてもらうように、促すことはできないものか。  
**答** 令和7年には、少子高齢化のほか、団塊の世代が75歳以上になり、地域包括ケア病床を拡充したものである。今後も市民が安心して医療が提供できるよう、湘南西部地区保健医療福祉推進会議での協議内容を注視していきたい。  
**二 震生湖周辺整備について**  
**問** 寺田寅彦は震生湖を広く伝える人である。句碑の説明と学術的な功績を湖畔に設置してはどうか。  
**答** 解説板はないが、二次元コードを貼って、市のホームページにアクセスできるようにしている。  
**問** 解説ではなく、震生湖が今の国登録記念物に至った礎を築いた寺田寅彦を顕彰することは意味があると考えがどうか。  
**答** 所管課としては、いろいろと整理して考えていきたい。



公的病院への支援を(写真は、秦野赤十字病院)

## 議長公務(9月~11月)

- 議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。横山 むらさき 議長
- 9月
    - 23日(土) ~ 24日(日) 第76回秦野たばこ祭開会式、オープニングパレード、交流会(副議長同席)
  - 10月
    - 1日(日) 第56回伊勢原観光道灌まつり交流会(副議長代理出席)
    - 15日(日) 美・緑なかいフェスティバル2023
    - 22日(日) 秦野茶道協会文化祭茶会
    - 23日(月) 神奈川県市議会議員会 正副議長研修会
    - 第211回神奈川県市議会議員会定例会(副議長同席)
    - ~ 26日(木) 第18回全国市議会議員会研究フォーラムin北九州
    - 29日(日) 第56回秦野市社会福祉大会及び第21回秦野市保健福祉センターフェスティバル
    - 第53回秦野市展写真の部表彰式
    - 第36回南地区ふれあいまつり(副議長代理出席)
    - 31日(火) 第40回全国創ろう会秦野大会招致・実行委員会設立総会及び第1回実行委員会
  - 11月
    - 3日(金) 第44回秦野市市民の日 開会式
    - 令和5年度秦野市功労者等表彰式
    - 15日(水) 第53回秦野市展書道の部表彰式
    - ~ 11日(土) 第28回全国報徳サミット御殿場市大会
    - 12日(日) 第14回秦野市親子川柳大会
    - 15日(水) 令和5年度建設業安全大会(副議長代理出席)
    - 18日(土) 第45回秦野市交通・防犯市民のつどい



宮永岳彦記念美術館